

『平成31年度富山市学校教育指導方針』の活用について

教育活動の指針として、本市学校（園）教育の基本的な方針や重点を示した『平成31年度富山市学校教育指導方針』の積極的な活用を期待しています。

1 教育指導の「重点事項」

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得
- 2 習得した知識・技能を活用した、思考力・判断力・表現力等の育成
- 3 学習の基盤を形成している言語に関する能力の育成
- 4 「確かな学力」の定着を図る規律ある学習態度の育成

2 主な指導方針のポイントと活用方法

第1章 教育指導の中核

- ・自他の命を大切にす指導の充実を図る。
- ・学習指導において、「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた問題解決的な学習の過程を通して、思考力・判断力・表現力等をはぐくむ授業を充実する。特に「自らの考えをもつ」場面における指導を工夫する。
- ・「生徒指導」では、子どもの発するサインを見逃さないよう日ごろから児童生徒理解を着実に進め、問題行動の早期発見に努めるとともに、一人一人に応じた指導方針を確立する。

第2章 教科等の指導

- ・各教科や領域における指導に当たっては、言語活動や体験的な活動の充実を目指し、関連資料を参考に具体的な活動をイメージし、日々の学習の指導計画を立てる。
- ・道徳科では、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子どもが自分自身の問題としてとらえ、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うように努める。

第3章 今日的な課題

- ・「業務の適正化」、小学校における「プログラミング教育」等、今日的な課題への対応について全教職員で共通理解し、実践に努める。
- ・「幼・小・中学校の連携」では、中学校区における連携を推進し、発達の段階に応じた効果的な指導を行い、子どもの連続的な学びと成長を保障する。

教科等指導員の紹介

1学期の学校訪問研修会を、19校2園で実施しました。教科等指導員は、指導主事とともに、各校の実践に見られる努力・成果をとらえて、共に考え、学びながら課題の解決に向けて研修を行いました。2学期もよろしくお願ひします。

学校訪問研修会の趣旨

各学校（園）の教育目標実現のため、富山市教育委員会の指導方針に即し、学校（園）経営・教育指導及び研修等に関して、指導・助言し、当面する課題を中心に解明を図り、教育実践の効果を高めることを旨としています。

学校訪問研修会が隔年実施となつてから、3年目を迎えました。訪問する指導主事等を増やし、学校への指導・助言の充実を図っています。

【小学校】			【中学校】		
教科等	氏名	勤務校	教科等	氏名	勤務校
国語	松本 竜也	船峯小	国語	柴 千春	岩瀬中
	飯原 仁美	芝園小		石田 一	奥田中
社会	菅原 俊	古里小	社会	小川 幸代	北部中
	森本 安宣	鶯坂小		藤塚 卓己	新庄中
算数	大崎 智子	水橋東部小	数学	金尾 靖子	新庄中
	松本 真理	福沢小		須波 昌美	速星中
理科	野村 理絵	蟻川小	理科	五十嵐孝雄	岩瀬中
	氷見 昌之	新保小		山崎 靖弘	新庄中
生活	石坂 京子	小見小	音楽	荒木 学	城山中
音楽	篠田美希子	堀川小	美術	石金 珠緒	山室中
図画工作	林 亜希子	上滝小	保健体育	亀山 寿光	山室中
家庭	橋 雅子	芝園小		有澤 桂	興南中
体育	大門 秀司	芝園小	技術	森川 誠	西部中
道徳	石金 次朗	音川小	家庭	山崎 陽江	興南中
特別活動	畑山浩樹朗	杉原小	英語	劔田 正美	大沢野中
総合的な学習の時間	柴山 秀範	堀川小		山本 博子	北部中
外国語活動	谷口 貴子	新庄北小	道徳	上坂 恭子	堀川中
	三箇 智絵	堀川小	特別活動	古川 姉穂	東部中
特別支援	伊東 真利子	堀川小	特別支援	堀 薫	大泉中
	竹内 朋子	広田小			